・通常号　定価１部 100 円（税込み）・年間購読料 2,000 円（送料含む）

国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS

つくろう、
新しい答え。
和歌山版　号外
2020年 10月

国民民主党 国民民主プレス 編集部　〒100-0014 東京都千代田区平河町2-5-3永田町グリッド4階
電話:03-3593-6229　URL:https://www.new-kokumin.jp

国民民主党 和歌山県総支部連合会　〒640-8156 和歌山市七番丁11-1 アラスカビル5階
電話:073-427-2255　FAX:073-427-2277　メール:info@dp-wakayama.jp
URL:http://dp-wakayama.jp

新「国民民主党」結党

設立大会：2020年9月15日（火）

【衆議院】

玉木雄一郎	代表
古川　元久	国会対策委員長・政治改革行政改革推進本部長
岸本　周平	幹事長代理・選挙対策委員長・両院議員総会長
前原　誠司	代表代行
山尾志桜里	広報局長兼シンクタンク戦略室長
浅野　　哲	国会対策委員長代理
西岡　秀子	政調会長代理

【参議院】

大塚　耕平	代表代行
小林　正夫	倫理委員長
浜野　喜史	財務局長
矢田わか子	副代表・男女共同参画推進本部長
榛葉賀津也	幹事長
足立　信也	組織団体委員長
伊藤　孝恵	役員室長兼総務局長
舟山　康江	政調会長

まっすぐで正直な政治をめざして

安倍首相が退陣し、菅内閣が発足しました。野党の側は、立憲民主党と国民民主党の合流新党が発足し、合流しなかった15人の仲間で新しい国民民主党がスタート。

衆議院の解散総選挙となれば、これまでのアベノミクスなど新自由主義的な路線を続けるのかどうか、そうでない場合、どのような社会を目指すのか、厳しく問われる選挙になると思います。

金融と財政の異次元のバラマキを続けてきた結果、実体経済は不景気にもかかわらず、株式市場のみが活況で、国民の間の格差が大きくひらいてきました。

一部のお金持ちや大企業が豊かになっても、地域経済や私たちの暮らしは良くなりません。官邸に権力が集中し、そんたく官僚を生み、しいては民主主義の根幹である公文書管理がねじ曲げられました。さらに、学術会議の人事にまで介入し、学問の自由をゆるがしています。国民不在の政治は許せません。

私たちは、穏健保守からリベラルまでを包みこむ、国民が主役の改革中道政党である国民民主党に残る決断をしました。「対決から解決へ。」国会では何でも反対ではなく、現実的な政策を提案していく国民民主党の魂を引き継ぎます。公正・公平・透明なルールのもと、多様な価値観や生き方、人権が尊重される自由な社会を目指します。

そんな私たちを励ますために、先日、テレビでもおなじみの寺島実郎多摩大学学長が来和し、「日本再生の基軸」をテーマに講演をしてくださいました。民主主義、健全な資本主義、多国間の協調主義のたいせつさ。リベラル保守の論客である寺島先生から、ポストコロナの時代の指針を示していただき、そのバランスの取れたお話は会場に大きな感動をまき起こしました。

改革中道の道を歩む私たち国民民主党和歌山県連への応援よろしくお願い申し上げます。

国民の命と暮らしを守るため
再挑戦いたします!

新「国民民主党和歌山県総支部連合会」を設立しました

玉木雄一郎代表を中心に国民民主党は再始動し、その和歌山県総支部として「国民民主党和歌山県総支部連合会」を設立。岸本周平衆議院議員を代表に選出し、9月26日新しくスタートしました。

国民民主党が結党以来掲げ続けてきた「政策提案型の改革中道」の立ち位置を守り抜き発展させていきます。

【国民民主党和歌山県総支部連合会】

代　　表	岸本　周平（衆議院議員）
幹 事 長	浦口　高典（和歌山県議会議員）
副幹事長	永野　裕久（和歌山市議会議員）
幹　　事	山中　敏生（和歌山市議会議員）

新「国民民主党和歌山県総支部連合会」設立を記念して 寺島実郎氏（多摩大学学長）の講演会を開催

新しい出発を記念して、リベラル保守の論客として活躍されている寺島実郎氏を招いて「日本再生の基軸」と題し、講演会（於ダイワロイネットホテル）を開催しました。200人を超える参加を得、コロナが炙り出した日本の課題と針路について学び交流いたしました。

和歌山県議会議員〈5期〉

浦口（うらぐち） 高典（こうてん）

・福祉環境委員会

低迷する和歌山県の幸福度ランキングの克服をめざす

「現実的な政策提案型の政党」、穏健保守からリベラルまで包み込む「国民民主党」を結成、私も参加しました。国民・県民のお役に立つ政治を実現していきます。

国民民主党和歌山県連設立を記念して「寺島実郎講演会」を開催しました。寺島先生が会長を務められる日本総合研究所の「47都道府県幸福度ランキング」の2018年度版では、和歌山県は42位で、このことを昨年2月の県議会で取り上げました。

学童保育設置率45位、事業所新設立46位、健康検査受診率46位、一般廃棄物リサイクル率47位等、あまり知られていない面で劣っていることが多々あり、このような事実をしっかり踏まえ、寺島先生がおっしゃる「健全な危機感」をもって、コロナ禍による苦しむ声をはじめ課題解決めざし、今後も県政に取り組んでいかなければならないと改めて感じた次第です。

和歌山市議会議員〈4期〉

永野（ながの） 裕久（ひろひさ）

・経済文教委員会

コロナ禍をきっかけに市政の役割見直しを

「合流新党には参加しない」、市議会議員生活10周年の今夏、私は大きな決断を致しました。小さな船の一兵卒ですが、「市民生活第一」の理念は一寸たりとも変わることはありません。信頼できる新国民民主党和歌山県連の仲間と共に、また、何よりも、オールひとつで荒波に向かっていく私を信じ、ご支援くださる市民の皆様からのご声援を糧に、更なる市民福祉の向上に努めて参ります。

国民民主党和歌山県連の結成を記念して開催した「寺島実郎講演会」で、「〝アベノミクス〟は虚構の政策論、分配での格差を生み、国民を幸福にしない新しい政策が必要である」「政策提案型で改革中道をめざす国民民主党に期待したい」などエールをいただきました。

コロナ禍をきっかけに市政の役割など見直し、市民の声をくみ上げ、期待を超える政党を創り上げていくことをお約束します。

和歌山市議会議員〈1期〉

山中（やまなか） 敏生（としお）

・総務委員会

市民の目線に立った政策提案を

寺島先生は、令和の日本は戦後日本が復興・成長のプロセスで創り出した「米国依存した通商国家」としての「工業生産モデル」、つまり産業力で外貨を稼ぎ、国を豊かにするという経済産業の基本枠の再考を求められるだろうと言っておられます。

国家間でも時代の変化に合わせたシステムの構築が求められる中、それは地方自治体においても当てはまることだと思います。

コロナウイルス蔓延による経済対策に始まり、その他様々な施策が必要とされている中、私は同時に基礎となる和歌山市の人口を、収入を未来を支えてくれる子ども達への投資が、人々が住みよい和歌山市を作る必須条件であり、最も費用対効果が高いと考えます。これからも「政策提案型の改革中道」を理念とし新たに結党した国民民主党から、市民の目線に立った政策提案を行っていきたいと思います。